

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 医療福祉経営研究所

②事業者情報

名称：	特別養護老人ホームむさしの	種別：	特別養護老人ホーム
代表者氏名：	吉江孝行	定員(利用人数)：	73 名
所在地：	〒 354-0003 埼玉県富士見市南畑新田16番地1	TEL	049-255-6102

③評価実施期間

平成29年7月1日（契約日）～平成30年1月10日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

「職員への浸透を図るために、面談時には必ず理念を伝えていきます」  
事業所として、全体としての目標、向かうべき方向性が示されている「法人理念」の職員全体への浸透を図ることが重要であると考えています。浸透させていくための取り組みとして、ホームページや施設内掲示の他、職員面談時には法人理念を経営層から直接伝えるようにしています。また、面談時には職員の業務評価も行います。自身の目標や業務と法人理念を結びつけて考えられるようになることを通し、職員全体への浸透を図っていくと考えています。

「家族との関わりや、報告や情報共有を大切にしています」  
事業所として家族との関わり、報告を大切にしています。施設の取り組みについては毎月の請求時に事務連絡として情報提供を実施、家族懇談会の際にも必要な情報提供を行い、欠席した家族に対しても懇談会の質疑応答も含めての詳細を文書にして送付するなどの丁寧な対応を意識した取り組みが行われています。

「選択食を取り入れ、盛り付けも利用者の目の前で行うことで自己選択や食の楽しみ、意欲の向上につなげていきます」  
食事は主菜を2種類の中から、その日に食べたいものを選ぶことができる選択食を取り入れています。その場で、自分で食べたいものを選ぶことで自己決定を促し、利用者が選ぶ楽しみを感じることに繋がっています。また、食事はメニューを伝えながら、食べるその場で盛り付けを行うことにより適温での食事の提供や利用者の食への意欲の向上につながっています。

◇特にコメントを要する点

「中長期をふまえた単年度の計画の更なる職員への浸透が期待されます」  
事業所の単年度事業計画は、中長期計画を意識した計画になっています。しかし、事業計画の職員への浸透、理解度、計画の実行性といった点では課題があると経営層は感じています。今後は、より職員が計画を自分事として捉え、事業所全体で取り組むことができる計画の運用への取り組みが期待されます。

「職員全体で学んだことを共有し、実践に繋げることができる工夫が期待されます」  
階層別や各テーマの研修が定期的に開催されています。現状として、業務状況との兼ね合いで参加できる職員が限られています。今後の取り組みとして、より多くの職員が同じ内容の研修を受け、共有し、全体として現場での実践に繋げていけるようにしていくことが期待されます。

「利用者への声の掛け方や、関わり方の工夫によってより質の高い支援が提供されることが期待されます」  
事業所として課題と感じている「利用者の自己決定」や認知症のある方の「意思の尊重」といった部分をクリアしていくため、何かをする時の声の掛け方の工夫として、「〇〇をしましょう」ではなく、「〇〇をしませんか」という問いかけ、本人の自己決定を促すことができるような声掛けを全体として徹底していくという取り組みを始めました。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

ここ数年、法人理念の浸透を大きな課題とらえ事業を進めてきました。職員には理念達成のための組織の一員であることを意識するように、と年3回の面接時に伝えてきました。その結果、日頃のサービス提供を進める上で職員との合意形成がしやすくなりました。それが利用者サービスにも良い影響を与えていると思います。また、ご家族の関りやおいしい食事の提供が評価されたことについては職員の努力の結果です。

特にコメントを要する点については事業所全体で課題解決ができるよう次年度以降の事業に活かしていきたいと考えています。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり